

不二サッシは窓から夢をひろげていきます



Fujisash Report

FUJISASH 2021年4月1日 ▶ 2022年3月31日 証券コード: 5940

Vol.11

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、当社の第41期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）が終了いたしましたので、「第41期定時株主総会 決議ご通知」および会社の状況等をご通知申し上げます。

代表取締役社長 吉田 勉



詳細な情報は不二サッシ株式会社のホームページをご覧ください。

<https://www.fujisash.co.jp/> (不二サッシQ)

ご挨拶

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動の制限と緩和が繰り返される中で、景気は緩やかに持ち直しの動きが見られました。建設関係では昨年の谷間から徐々に回復傾向にあり、新設住宅着工戸数も前年に比べ増加いたしました。しかし、半導体の供給不足および原材料価格の動向、また変異株をはじめ感染症による内外経済の影響、更にウクライナ情勢の緊迫化等による下振れリスクを注視する必要があり、厳しい事業環境となっています。

このような状況の中、主力とするビルサッシを中心とした建材事業分野においては、新設住宅着工戸数が貸家を中心に増加しているもののマンションでは依然として先行きが不透明な状況が続いています。型材外販事業においては、原材料費および諸資材価格高騰など事業環境の急速な悪化に

より収益性が低下したことに伴い、特別損失（減損損失）35億6千万円を計上いたしました。環境事業は、プラント工事の工期延期などの影響を受けました。

この結果、売上高904億3千万円（前年同期は923億9千6百万円）、営業利益8億8千5百万円（前年同期は営業利益5億3千4百万円）、経常利益11億1百万円（前年同期は経常利益8億9千8百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失33億2千6百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益5億7千2百万円）となりました。

このような経営環境下、当社グループは新たな中期経営計画(2022-2024年度)をスタートさせました。環境負荷を軽減するものづくりやプロセス革新を続けることで持続可能な社会の実現に貢献するとともに強靱な事業基盤を確立し、「選ばれる企業グループ」を目指してまいります。

連結業績ハイライト

区 分		2018年度 第38期	2019年度 第39期	2020年度 第40期	2021年度 第41期 (当連結会計年度)
		自2018年4月 1日 至2019年3月31日	自2019年4月 1日 至2020年3月31日	自2020年4月 1日 至2021年3月31日	自2021年4月 1日 至2022年3月31日
売上高	(百万円)	98,254	101,789	92,396	90,430
経常利益	(百万円)	1,273	737	898	1,101
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失	(百万円)	877	432	572	△3,326
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失	(円)	6.96	3.43	4.54	△26.36
総資産	(百万円)	90,832	92,155	91,702	83,315
純資産	(百万円)	19,985	20,297	21,293	18,065

(注)「収益認識に関する会計基準」及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」の適用に伴い、当期の数値については、当該会計基準等を適用した後の数値であります。

TOPICS 1

チバニ안의地層に設置する『ゴールドenspайク』を市原市に寄贈

当社は、チバニ안의地層に設置するゴールドenspайクを制作し、市原市に寄贈いたしました。

去る5月21日に千葉県市原市で「ゴールドenspайク設置記念式典」が行われ、熊谷千葉県知事、GSSP（Global Boundary Stratotype Section and Point：国際境界模式層断面とポイント）承認に尽力された研究者等関係者の方々が出席される中、小出市原市長より当社吉田社長に感謝状が贈呈されました。



左から：小出市原市長・吉田不二サッシ社長・古澤不二ライトメタル社長（画像提供：市原市）

経緯

2020年1月に開催された国際地質科学連合（IUGS）において、千葉県市原市田淵の養老川沿いに露出する約77万年前の地磁気逆転地層を、GSSPとすることが正式に認められました。

これにより、地質年代の中期更新世（約77万4千年前～約12万9千年前）が、「チバニアン（Chibanian）」と名付けられることになりました。「チバニアン」は、ラテン語で「千葉時代」を意味するもので、地球の地質年代の名前に、日本の地名が採用されるのは、今回が初めての快挙です。

GSSP認定のポイントには、「ゴールドenspайク」と呼ばれる金色の鉾やモニュメント等が設置されることが慣例となっており、市原市に千葉工場を構える弊社が製作し寄贈することとなりました。



寄贈したゴールドenspайク

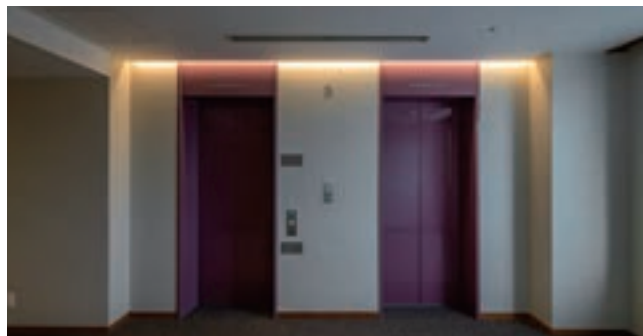
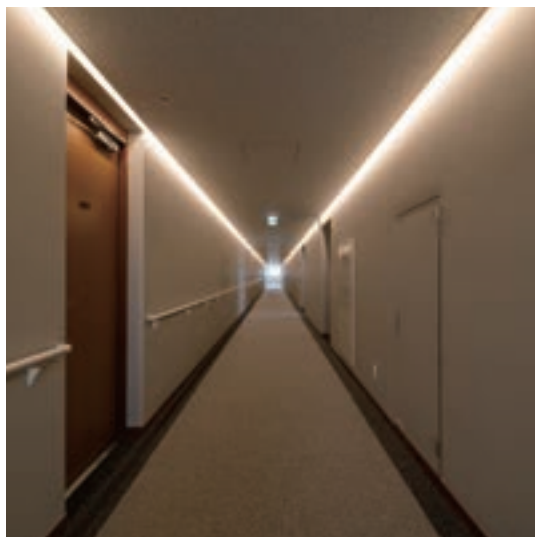
TOPICS 2

『アルビーム』光建材商品のご紹介

●「アルビーム・インテリア」

建材メーカーならではの視点により企画・開発した光建材「アルビームインテリア」は、昨年5月の発売以来、多くのお客様に高い評価を頂いております。

ホテルやオフィスの廊下、洗面所や壁面など、簡単に美しい間接照明や意匠照明が作り出せることに加え、工期の短縮や省力化ができ、これまで設置が不可能とされていた部分にも、間接照明の設置を可能にしています。



●「アルビーム・ムーブ」

デジタル制御技術を活用し、色や映像の演出を加えます。

※当社ホームページに商品の動画を掲載しております。



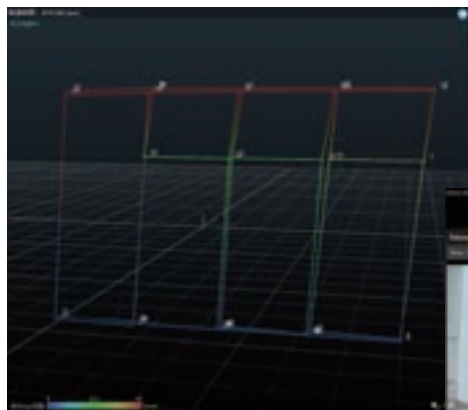
TOPICS 3

業界初となるISO/IEC17025の認定を取得

当社は、カーテンウォールの性能を測定する「光学式モーションキャプチャ法」による試験方法を独自開発しました。従来の性能試験に比べ耐風圧や耐震などの性能を高精度で測ることができ、2021年12月には同試験法としては業界初となるISO/IEC17025を取得しました。

モーションキャプチャは、従来使用している接触式の電気式変位計では測定することが困難な「動きの速いもの」「複雑な形状」や「柔らかいもの」まで変位量を測定することができます。

このようにカーテンウォールの耐風圧性、耐震性の試験を行う際は、お客様のご要望に合わせ、今まで以上にさまざまな測定条件に対応し検証いたします。



耐震性試験ではフレームやガラスの層間変位追従性を可視化



TOPICS 4

SBT認定取得に向けコミットメントレターを提出

当社は、パリ協定が定める目標に科学的に整合する温室効果ガスの排出削減目標「Science Based Targets (SBT)」を認定する機関「SBTイニシアチブ (SBTi)」に対し、コミットメントレターを提出し、2年以内にSBT認定取得を目指すことを表明しました。

当社は2022年度からの中期経営計画のメインメッセージとして、「サステナブルな社会実現への貢献『選ばれる企業グループへ』」を掲げ、環境負荷を軽減するものづくりやプロセス革新を続けることで持続可能な社会の実現への貢献を目指しています。

不二サッシグループ 中期経営計画 (2022-2024年度)

サステナブルな社会実現への貢献『選ばれる企業グループへ』

環境負荷を軽減するものづくりやプロセス改革を推進することで持続可能な社会の実現に貢献するとともに、

強靱な事業基盤を確立し「選ばれる企業グループ」を目指します

不二サッシグループはSDGsの目標達成期限である2030年に創業100周年を迎えます

基本方針

- 稼ぐ力の向上
- 脱炭素経営の実践
- スピード感のある改革と成果

基本戦略

変革（DXの加速等）へ挑戦し、生産性向上・営業強化を図る	① 生産設備の自動化、ロボット化の推進 ② 間接部門の生産性向上 ③ 営業プロセスの再構築による営業強化
事業領域・エリアを拡大し、新規・注力事業を強化する	① 環境配慮商品の拡充（樹脂、樹脂複合、自然換気商品等） ② リニューアル事業の拡大 ③ アルミ加工品事業の拡大 ④ 現地法人を活動拠点に海外事業を強化
ESG・SDGs貢献への取組み	① SBT認定取得、TCFD提言への賛同 ② ダイバーシティの推進 ③ アルミリサイクル材を活用した資源循環の実現

数値目標

	売上高	営業利益額	営業利益率	純資産	自己資本比率	配当	ROE
2024年度(目標)	1,050億円	32億円以上	3.0%以上	250億円以上	25.0%以上	安定配当の継続と財務基盤の強化	8.0%以上

中期経営計画の詳細については、当社ホームページ(<https://www.fujisash.co.jp/>)をご参照ください。

第41期 定時株主総会 決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。
さて、本日開催の当社第41期定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたのでご通知申し上げます。

報告事項

- 第41期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
本件は、上記事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびにその監査結果を報告いたしました。
- 第41期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）計算書類報告の件
本件は、上記計算書類の内容およびその監査結果を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 剰余金の配当の件

本件は、原案のとおり承認可決され、期末配当金は1株につき1円と決定いたしました。

第2号議案 定款一部変更の件

本件は、原案のとおり承認可決されました。

定款一部変更の概要は、「会社法の一部を改正する法律」（令和元年法律第70号）附則第1条ただし書きに規定する改正規定が2022年9月1日に施行されますので、株主総会資料の電子提供制度導入に備えるため、当社定款について所要の変更を行いました。

配当金のお支払について

第41期期末配当金（1株につき1円）は、同封の「第41期期末配当金領収証」によりお支払いいたしますので、払渡し期間中（2022年6月30日から2022年7月29日まで）に最寄りのゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局（銀行代理業者）でお受け取りください。

また、銀行預金口座振込みをご指定の方は「配当金計算書」および「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方は「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしましたので、ご確認ください。（株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引の口座管理機関（証券会社）へお問合せください。）

会社概要（2022年3月31日現在）

社名	不二サッシ株式会社 FUJI SASH CO.,LTD.
本社	神奈川県川崎市幸区鹿島田一丁目1番2号 新川崎三井ビルディング
創業	1930（昭和5）年7月7日
資本金	1,709,609,300円
決算期	3月
従業員数	906名（連結 2,970名）
主な事業内容	● カーテンウォール、ビル用サッシ、 その他の建築材料の製造・販売・施工 ● 各種アルミニウム製品の製造・販売・施工 ● 一般・産業廃棄物処理プラントの製造・ 販売・施工、他

役員（2022年6月29日現在）

代表取締役社長	吉田 勉
取締役	岡野 直樹
取締役	江崎 裕之
取締役	植田 高志
取締役	新野 伸宏
取締役	石井 浩
社外取締役	緒方 右武
常勤監査役	菅原 伸幸
社外監査役	妹尾 佳明
社外監査役	佐橋 広司

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	同事務取扱場所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号
定時株主総会	毎年6月に開催	郵便物送付先	〒168-0063 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
配当基準日	3月31日（期末） 9月30日（中間）	お問合せ先	電話 0120-782-031（フリーダイヤル）
その他の基準日	上記の他、必要があるときは、 あらかじめ公告して定めます。	単元株式数	100株
株主名簿管理人 および特別口座 の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	公告方法	電子公告により行います。ただし、事故 その他やむを得ない事由によって電子公 告による公告をすることができない場合 は、日本経済新聞に掲載いたします。
		公告掲載URL	https://www.fujisash.co.jp/

不二サッシ株式会社

〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田一丁目1番2号
新川崎三井ビルディング



見やすく読みまちがえ
にくいユニバーサル
デザインフォントを採
用しています。

